

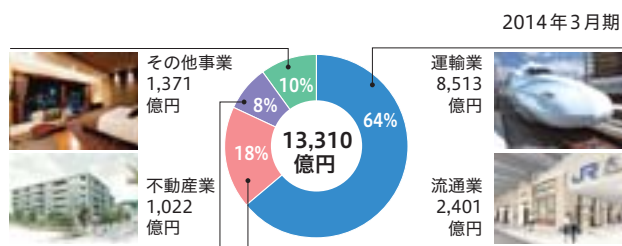
財務ハイライト(連結)

連結決算データ

単位：億円

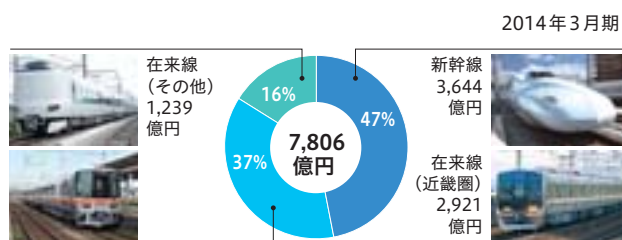
| | 2013年度 | 2012年度 | 2011年度 |
|------------------|---------|---------|----------|
| 営業収益 | 13,310 | 12,989 | 12,876 |
| (再掲:鉄道事業の旅客運輸収入) | (7,806) | (7,691) | (7,587) |
| 営業費用 | 11,964 | 11,694 | 11,778 |
| 営業利益 | 1,345 | 1,294 | 1,097 |
| 経常利益 | 1,129 | 1,046 | 824 |
| 当期純利益 | 656 | 601 | 294 |
| 資産合計 | 26,878 | 26,137 | 26,429 |
| 負債合計 | 18,805 | 18,455 | 19,094 |
| (再掲:長期債務) | (9,807) | (9,830) | (10,688) |
| 純資産合計 | 8,073 | 7,681 | 7,335 |

セグメント別営業収益



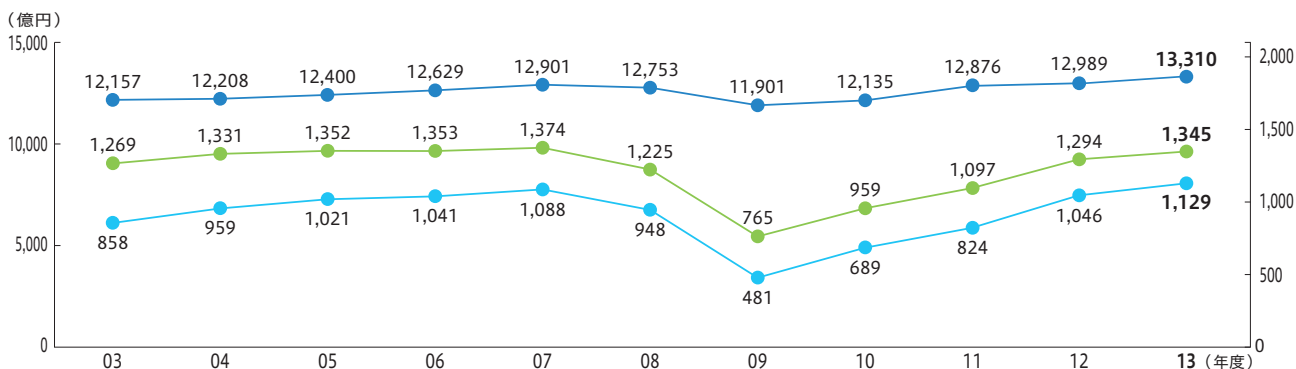
(注)1. 上記セグメント別営業収益は、外部顧客に対する売上高を示しています。
 (注)2. 金額については、表示単位未満の端数は切り捨て表示しています。また、比率については、表示単位未満の端数は四捨五入して表示しています。そのため、合計などと一致しない場合があります。

鉄道事業の旅客運輸収入

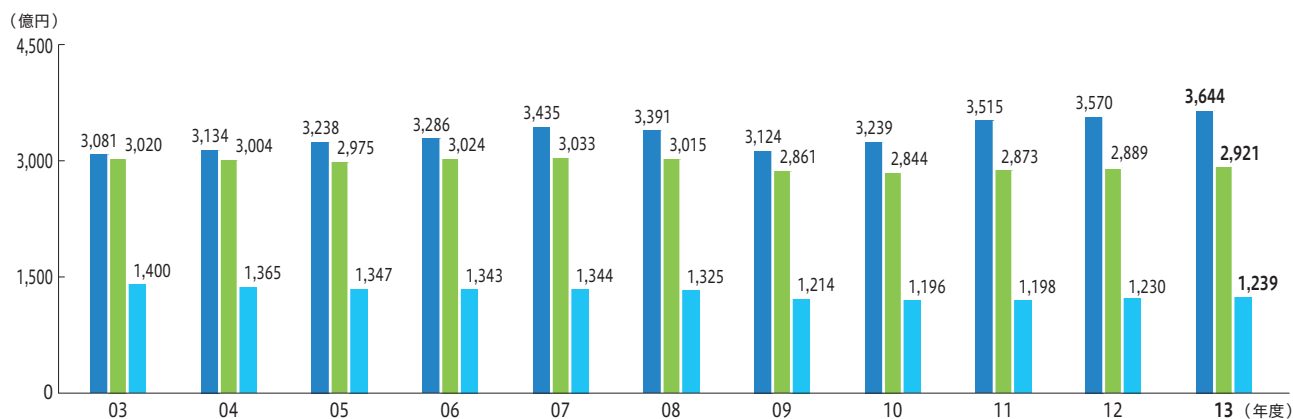


(注)金額については、表示単位未満の端数は切り捨て表示しています。また、比率については、表示単位未満の端数は四捨五入して表示しています。そのため、合計などと一致しない場合があります。

経営成績



鉄道事業の旅客運輸収入



2013年度の経営成績の分析

JR西日本グループは、基幹事業である鉄道事業において安全性の向上に全力で取り組むとともに、その他のグループ事業においては、各事業の特性を活かしたさまざまな施策の展開および保有資産の有効活用などに努めてきました。

2013年度については、新幹線・在来線ともお盆期間や年末年始を中心に、ご利用が好調だったことや、マンション分譲および北陸新幹線関連工事の増収などにより、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも増加しました。

①営業収益

営業収益は、2012年度に比べ2.5%、321億円増加の1兆3,310億円となりました。

運輸業については、当社の運輸収入の増などにより、2012年度に比べ0.8%、64億円増加の8,513億円となりました。

このうち、山陽新幹線については、ダイヤ改正により「のぞみ」「さくら」の運行体系の一部見直しや「みずほ」の増発を行い、利便性向上に努めた結果、2012年度に比べ2.1%、74億円増加の3,644億円となりました。

また、在来線についても、近畿圏における大型商業施設の開業に伴いアーバンネットワークを中心にご利用が増加したことなどにより、2012年度に比べ1.0%、40億円増加の4,161億円となりました。

流通業については、駅の魅力向上に向けた取り組みを推進したほか、ビジネスホテルの開業効果などにより、2012年度に比べ2.3%、54億円増加の2,401億円となりました。

不動産業については、マンション分譲の増加および姫路駅ビル「ビオレ姫路」の新規開業などにより、2012年度に比べ12.5%、113億円増加の1,022億円となりました。

その他については、北陸新幹線関連工事の増加などにより、2012年度に比べ6.8%、87億円増加の1,371億円となりました。

②営業費用

営業費については、マンション分譲および北陸新幹線関連工事による増収に伴う売上原価、物価費の増加などにより、2012年度に比べ2.3%、270億円増加の1兆1,964億円となりました。

③営業利益

営業利益は2012年度に比べ3.9%、50億円増加の1,345億円となりました。

④営業外損益

営業外損益については、長期債務の返済による支払い利息の減少などにより、2012年度に比べ31億円改善し、216億円の損失となりました。

⑤経常利益

経常利益は2012年度に比べ7.9%、82億円増加の1,129億円となりました。

⑥特別損益

特別損益については、2012年度における当社の新たな再雇用制度の設定による退職給付引当金戻入額の計上および「OSAKA STATION CITY」の百貨店「JR大阪三越伊勢丹」にかかる減損損失の計上の反動などにより、2012年度に比べ37億円改善し、12億円の損失となりました。

⑦当期純利益

当期純利益は、2012年度に比べ9.0%、54億円増加の656億円となりました。

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

情報開示に関する指針として、ディスクロージャーポリシーを定め、関係法令などで求められている重要事実の公表はもとより、JR西日本グループに関する情報を企業ホームページなどで積極的かつ公平に開示するよう努めています。

2013年度は、機関投資家の皆様に対しては、経営トップによる会社決算説明会のほか、スモールグループミーティングや個別面談を実施しました。また、個人投資家の皆様には、会社説明会を開催しました。株主の皆様に対しては、対話を重視する理念のもと、「株主センター」を設置するとともに、株主総会について、出席いただきやすい開催日の設定や丁寧な説明に努めています。また、事業内容へのご理解を一層深めていただけるよう、車両所の見学会を開催しました。



株主様向けに吹田総合車両所京都支所見学会を実施

詳しくはWEBで [JR西日本](#) [IR](#) [検索](#)